

平成 27 年度

# 決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



決算特別委員会において、平成27年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。

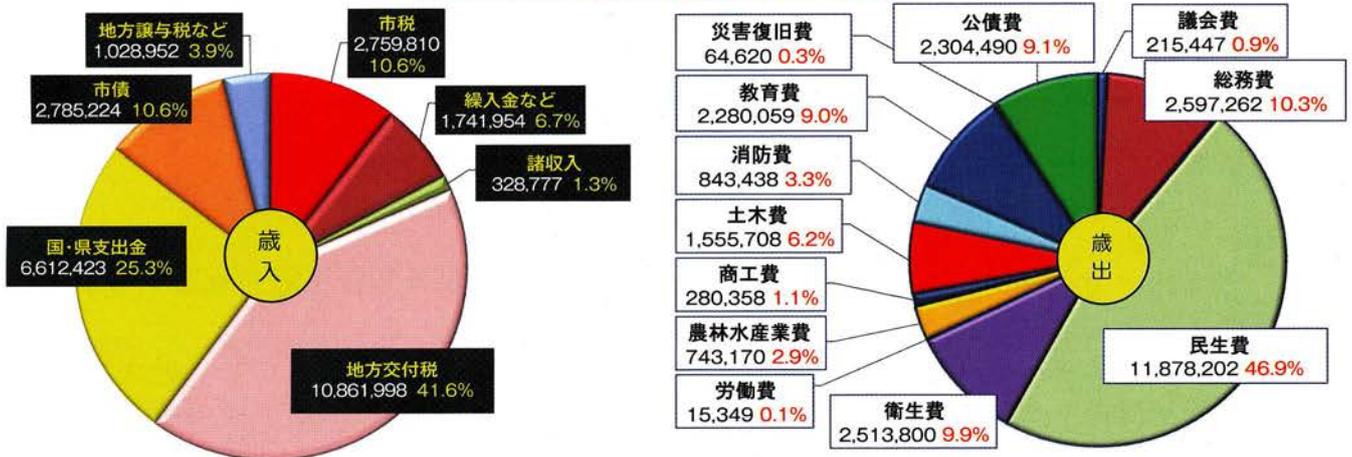
一般会計においては、歳入総額2億6191万3千円、歳出総額2億5290万9千円とし、歳入歳出差引額は、8億272万3千円となっております。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が18.5%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が81.5%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、92.4%と1ポイント上昇し財政の柔軟性が若干向上した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

## 一般会計決算の状況



## 各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	261億1,913万円	252億9,190万円	8億2,723万円	
国民健康保険事業特別会計	64億9,823万円	69億4,704万円	△4億4,881万円	
後期高齢者医療特別会計	6億510万円	5億9,602万円	908万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億1,423万円	9,360万円	2,063万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億3,253万円	51億4,651万円	1億8,602万円
	サービス事業勘定	7,629万円	7,629万円	0
水道事業会計	収益的収支	7億7,979万円	6億5,683万円	1億2,296万円
	資本的収支	1億3,030万円	2億9,383万円	△1億6,353万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。